

平成24年度 第3回 復旦大学・関西大学経済フォーラム

「中国における日系企業の現状と課題 — 日中経済交流の転換期にあたって —」

- ◆日時 | 2012年6月22日(金) 15:00~17:30
23日(土) 9:30~17:30
- ◆場所 | 上海市 復旦大学 日本研究センター 1Fホール

1972年の日中国交回復以来、様々な分野で日本と中国の交流が進められてきた。とりわけ、経済交流は着実に発展し、両国とも貿易相手国としてきわめて重要な位置を占めるに至っている。2010年に中国が日本を抜いてGDP世界第2位に躍進し、中国は今や「世界の工場」から「世界の市場」へと展開している。1980年代から多くの日系企業が中国に進出してきたが、この間の10%を超える人件費の増大や複雑な労務管理、税制などが重要な問題になってきている。国交回復40周年を迎える本年は中国に進出している日系企業にとっても大きな転換期となっている。今回のフォーラムは、こうした中国における日系企業の現状と問題点を大学の研究者だけではなく、日系企業に勤務する中国人を交えながら幅広く議論し、解明することを目的としている。

2012年6月22日 (金) 15:00~

氏名(所属)	題 目	時間(分)	担当
司会：魏全平 (復旦大学日本研究センター副教授)			
主催：来賓挨拶 復旦大学：郭定平 (復旦大学日本研究センター所長、教授) 関西大学：本西泰三 (関西大学学長補佐、経済学部教授)		15:00~15:10 (10)	
基調講演Ⅰ：張浩川 (復旦大学日本研究センター副所長、副教授)	中日経済協力の現状と展望	15:10~15:40 (30)	復旦大学
基調講演Ⅱ：水野一郎 (関西大学経済・政治研究所長、商学部教授)	中国における日系企業の現状と課題	15:40~16:10 (30)	関西大学
集合記念写真撮影&休憩		16:10~16:30 (20)	
研究報告1：戴曉美 (復旦大学日本研究センター副教授)	日本のエコ消費について	16:30~16:50 (20)	復旦大学
研究報告2：佐々木信彰 (関西大学経済学部教授、経済・政治研究所研究員)	国交正常化40年の日中経済関係	16:50~17:10 (20)	関西大学
質疑応答		17:10~17:30 (20)	
懇親会(教授レストラン)		18:00~	

2012年6月23日 (土) 9:30~

氏名(所属)	題 目	時間(分)	担当
司会：張浩川 (復旦大学日本研究センター副所長、副教授)			
研究報告3：傅鈞文 (上海社会科学院世界经济研究所教授)	日本対中投資と中日貿易から見る中日経済関係の深化——長江デルタ地域を中心に	9:30~9:50 (20)	復旦大学
研究報告4：岡照二 (関西大学商学部助教、経済・政治研究所研究員)	日本企業におけるカーボン経営・会計の動向	9:50~10:10 (20)	関西大学
質疑応答		10:10~10:30 (20)	
休憩		10:30~10:45 (15)	
研究報告5：魏全平 (復旦大学日本研究センター副教授)	日本FTA戦略の変化及びその影響	10:45~11:05 (20)	復旦大学
研究報告6：長谷川伸 (関西大学商学部准教授、経済・政治研究所研究員)	深センにおける日系中小企業の現状と課題	11:05~11:25 (20)	関西大学
質疑応答		11:25~11:45 (20)	
昼食、休憩(お弁当)		11:45~13:30 (105)	
円卓討論(司会：水野一郎)	中国における日系企業の現状と課題	13:30~15:30 (120)	
復旦大学の施設見学		16:00~17:00 (60)	
懇親会(正大レストラン)		17:30~	

